

みずほCustomer Desk Report 2020/07/14号 (As of 2020/07/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.84
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	106.92	1.1309	120.94	1.2628	0.6950
SYD-NY High	107.32	1.1374	121.96	1.2666	0.6993
SYD-NY Low	106.79	1.1294	120.88	1.2551	0.6939
NY 5:00 PM	107.29	1.1343	121.69	1.2551	0.6939
NY DOW	26,085.80	10.50	日本2年債	-0.140	0.00bp
NASDAQ	10,390.84	▲ 226.60	日本10年債	0.030	2.00bp
S&P	3,155.22	▲ 29.82	米国2年債	0.154	▲ 0.20bp
日経平均	22,784.74	493.93	米国5年債	0.286	▲ 1.75bp
TOPIX	1,573.02	37.82	米国10年債	0.618	▲ 2.38bp
シカゴ日経先物	22,570.00	▲ 60.00	独10年債	-0.4185	5.10bp
ロンドンFT	6,176.19	80.78	英10年債	0.1820	2.80bp
DAX	12,799.97	166.26	豪10年債	0.9030	2.70bp
ハンセン指数	25,772.12	44.71	USDJPY 1M Vol	5.55	0.02%
上海総合	3,443.29	59.96	USDJPY 3M Vol	6.10	▲ 0.02%
NY金	1,814.10	12.20	USDJPY 6M Vol	7.28	0.03%
WTI	40.10	▲ 0.45	USDJPY 1M 25RR	-0.73	Yen Call Over
CRB指数	140.68	▲ 0.84	EURJPY 3M Vol	7.53	0.12%
ドルインデックス	96.46	▲ 0.19	EURJPY 6M Vol	8.05	0.00%

東京	東京時間は106.92レベルでオープン。仲値前にドル売り優勢の動きとなり、一時106.79まで下落。その後は上海や香港等のアジア株高を受け円が軟化。また日経平均も前営業日対比500円近く上昇し、全般的な株高を背景としたクロス円の上昇を受けてドル円も値を戻し、前営業日のクロスとほぼ同水準の106.91レベルで海外へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.91レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ、株高の中でドル円はじりじりと上昇。107.10まで上昇し同レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2654レベルでオープン。EUとの通商交渉への不安が一部で聞かれポンドは対ドルで下落。1.2593まで下落し1.2603レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	先週のウイグル人権侵害問題で米国が中国の当局者に対する制裁を科したことに對する報復措置で、中国が米3議員と大使一人を制裁することを発表するが、海外では株高を受けたリスク志向のドル売りが強まる一方、円売りにドル円は下値をサポートされ、107.10レベルでNYオープン。本日は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、朝方は海外市場の流れを引き継ぎ円売りに107.29まで戻す。その後107.19まで下押しするが、今週本格化する米企業決算発表を前に、株式市場が大幅に上昇する動きに円売りが再び強まり、107.32まで上伸する。午後は利益確定の売りに107.15まで反落するが、カプラン・ダラス連銀総裁の「コロナ感染者増が景気を冷え込ませるだろう」と発言したことや、カリフォルニア州がコロナ患者急増を受け、レストラン、バーなど室内での活動を再び禁止したことから大幅に上昇していた株式市場が上げ幅を急速に縮小する展開に、リスク回避のドル買いが強まり、ドル円は107.31まで戻す。終盤に掛けては、円買いが優勢となったことからドル円も小緩み、107.29レベルでクロスした。一方、堅調な欧州株の動きを受け、1.1338まで戻したユーロドルは、1.1335レベルでNYオープン。朝方は、海外市場の流れを引き継ぎ、ドル売りにユーロドルは1.1374まで上昇する。しかし午後に入ると前述のカリフォルニア州の発表を受け、ドル買い戻しが強まり、ユーロドルは反落し、1.1343レベルでクロスした。

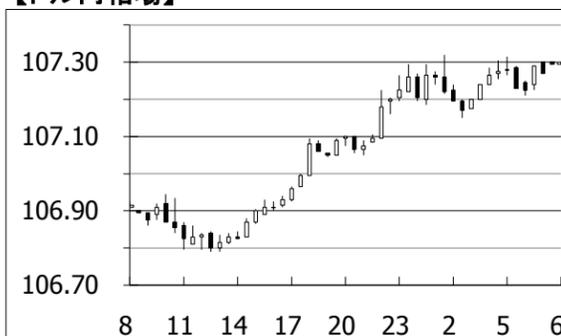
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
------	------	-------	----	----

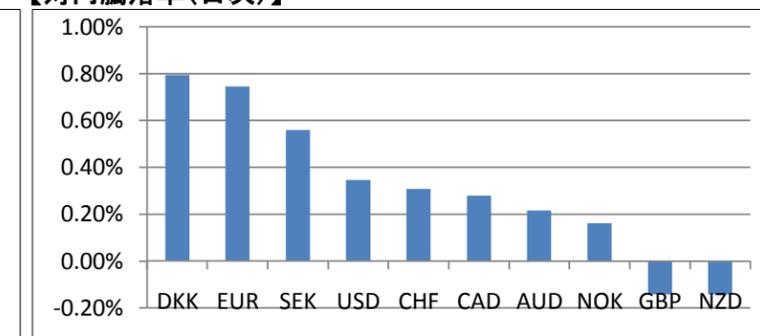
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月14日	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	5月 -	-8.4%/-25.9%
	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	5月 6.0%/-20.4%	-20.3%/-24.4%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	5月 7.8%/-24%	-24.3%/-28.5%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	6月 0.6%/0.9%	0.6%/0.9%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	6月 0.5%/0.6%	-0.1%/0.1%
		輸出/輸入(前年比)	6月 -2.0%/-9.0%	-3.3%/-16.7%
		貿易収支	6月 \$59.60b	\$62.93b
7月15日	03:00	米 プレイナードFRB理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 日銀は金融政策の見極めへ

本日から2日間の日程で日銀金融政策決定会合が開催される。明日15日には、今会合の結果と最新の「経済・物価情勢の展望」(展望レポート)が発表され、黒田総裁記者会見も行われる。前回6月の会合では、市場予想通り金融政策は据え置かれた。また、「日本銀行の新型コロナ対応」という別紙の中で、政府の二次補正予算に関連して、特別プログラムの総枠が「約110兆円+α」に拡大したことが示された。先月24日に発表された、6月会合における主な意見・骨子では、「日銀による新型コロナ対応の政策措置はおおむね出そろった。当面は政策の効果を丁寧に確認・検証する。」とされており、今会合についても金融政策の現状維持が予想されており、円相場へのインパクトはないとみている。一方で、展望レポートの内容に注目したい。先週6日に、緊急事態宣言の解除による経済活動の再開や10万円の特定定額給付金による消費回復期待を受け、「国内景気が年末にかけて持ち直すとの基本シナリオを維持する見通し」と報道されている。ただし、翌7日以降国内の新型コロナ感染者数は連日200人を超えており、第2派、第3派懸念が高まっている。米国を中心に世界的にも日々感染者数は増加しており、海外の影響も受け、国内景気持ち直しは来年以降に後ずれするリスクがある。さらに九州などでの豪雨災害も懸念材料である。展望レポートで景気の下リスクが強調された場合、日銀の出口に向けた議論がさらに遠のくこととなる。黒田総裁は9日の支店長会議で「必要であれば躊躇なく追加的な金融緩和措置を講じる」と発言している。ただし、金融緩和の副作用が懸念されており、日銀として打てる策に限られているとの見方が多い。一方でFRBはYCCの導入検討、ECBについても秋に資産購入枠の再度増枠との見方が広がっている。他先進国との政策のずれが出てきた場合の円高リスクに警戒したい。(やまぐち)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。